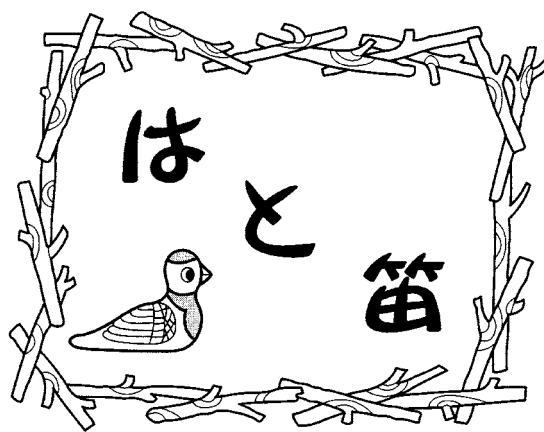




路地裏探偵団と図書館

オダギリ ユタカ

「弘前路地裏探偵団」をご存じですか？

2010年に設立されたまちあるきのボランティアガイドの団体です。

弘前市内に観光ボランティアガイドの団体はあったのですが、「弘前路地裏探偵団」は「まちあるき」に特化した観光ガイドで、弘前ならではの生活文化やそのルーツを調査し、そこで得た知識や情報を楽しみながらラビリンスガイドとして伝えることを目的としています。

青森県内にはまちあるきガイドの団体がだいぶ増えてきましたが、青森県内で最初に出来たまちあるきガイドの団体が「弘前路地裏探偵団」です。

実は私、設立メンバーで現在も観光ガイドとして活動しています。

「まちあるき」ガイドと言っても簡単なものではなく、コースをどう作るか、どこでどの話をするかなど皆さんの情報などが必要でした。

もともと弘前愛が強いメンバーが多いの

で、子供の頃の弘前の話題も出たりして、その時の話もガイドの話題としてネタになったりしています。

また、団員の話で、昔ここに〇〇があったとか、あの頃と変わったとか記憶があいまいな話も出てきたりすることもあり、その時に役立つのが古地図なのです。確認が出来るのです。

弘前図書館に古地図もあるのをご存じですか？

正直言って私は図書館とは無縁でした。図書館は本を読むところって感じでした。

その考えが変わったのが、ある図書館職員の方との出会いでした。

私が担当しているラジオ番組に図書館職員がいらして、本を紹介するコーナーがあったのですが、その方は本ではなく、古地図を持参してスタジオのテーブルに広げだしたのです。

これは江戸時代の弘前の地図で、弘前図書館には昔の地図も保管してあるとの紹介でした。

その方は図書館にたくさんの方に足を運んで、利用していただきたいのことで、図書館は本だけではなく、ほかの利用の仕方もあるとお話でした。

図書館といえば、堅苦しい場所という印象から変わった瞬間でした。

今自分が住んでいる場所、昔どうだったか知りたくないですか？昔の人はどんな生活していたのかロマンありませんか？想像するだけでも楽しくなりませんか？

当時、スタジオにいらした職員の方のお話もすごく楽しく、たくさんお話を聞きたかったのですが、時間が限られていたのが残念でした。歴史にも興味がなかった私ですが、古地図がきっかけで歴史にも興味を持つようになりました。

例えば、「弘前城」は古地図を見ればもち

ろんどどこにあるのかはわかります。ただ、なぜこの場所にお城を建てることになったのか、また、鬼門の方角には弘前八幡宮、裏鬼門の方角に33のお寺が並ぶ禅林街、風水の知識が重視されていたことがわかります。古地図のちょっとしたことから、何故？誰が？になって調べたくなるわけです。

この先は、図書館ですね。

「弘前路地裏探偵団」は桜まつりのシーズンは弘前公園の夜桜をご案内する「夜桜探偵団」としても活動しており、どうしても江戸時代の知識も必要になります。

通常は現在の弘前の話が多いのですが、古い洋館もあるので、昔の知識も必要です。

ただ、無理やり知識を詰め込んだわけではなく、自分が気になった何故？誰が？を調べて、観光案内に活かしているような気がします。それもわくわくする話に持っていけるように。

観光に来てまで難しい話は聞きたくないでしょ？

弘前良かった！楽しかった！また行きたい！と思っただけのように、先人が作り上げてきた弘前の街並み、歴史、これからは弘前の魅力をたくさんの方の観光客の方に伝えていきたいと思っています。

(歌手・ラジオパーソナリティ)



弘前路地裏探偵団



イベント実施報告 2月〜5月

〔弘前図書館〕2月16日

ぬいぐるみのおとまり会in弘前図書館
ウキウキおとまり会！



ぬいぐるみたちはぐっすり

大切なお友だちのぬいぐるみを抱きしめながら会場入りした子どもたち。今年のテーマは「節分」です。最初は節分にちなんで「ももたろう」のお話とクイズを絡めたお話をしました。お話が終わった後、次は突如現れた鬼を倒す「風船バレー」。コートをももたろうチームと鬼で陣地を分け、鬼の陣地に多く風船が入ったらももたろうチームの勝ちというゲームです。鬼退治に一生懸命で風船を力一杯飛ばす子もいて、大変盛り上がりました。最後に自分で選んだ絵本でぬいぐるみたちに読み聞かせをしながら寝かしつけをした後、大切なお友だちのぬいぐるみとお別れです。

ぬいぐるみたちはその後、図書館で「はとぶえ号」の運転、

書庫の探検等を体験しながら過ごしました。その様子をこっそり撮影し、SNSにぬいぐる



鬼に立ち向かう子どもたち

みたちのおとまり会の様子を発信。お迎え時には、子どもたちへその様子をアルバムにしてプレゼントしました。

〔弘前図書館〕3月15日

弘前ライブラリーシネマ
「天使のいる図書館」を上映

3月15日、弘前図書館にて「弘前ライブラリーシネマ」を開催しました。今回も受付開始直後からたくさんのお申込みをいただき、当日は38名の方がお越しくださいました。今回の映画会では、奈良県葛城地域の図書館が舞台の「天使のいる図書館」を上映しました。大河ドラマで話題の小芝風花さん演じる、人付き合いの苦手な新人司書が図書館利用者とのやりとりを経て成長していくというお話です。作中では、

レファレンスサービス（利用者の調べもののお手伝いをする仕事）を始めとした司書の仕事や、通常は利用者の方が見る機会のない図書館のバックヤードが描かれていたほか、葛城地域の美しい自然の風景や名所の数々が登場しました。



映画会の様子



参加者の方々からは「奈良県の景色が素晴らしかった」「ほのぼのとした内容で良かった」「若いエネルギーを感じられる映画だった」など好意的な感想をいただきました。

〔岩木図書館〕3月1日

読み聞かせボランティア講習会
読み聞かせの世界によろこそ！

3月1日に「読み聞かせボランティア講習会」を開催しました。1時間15分の講習会のうち、前半は読み聞かせの講義を約40分、後半は講師2名による実演を約30分行う形で進行していきまし



講習会の様子

たもので、参加した方たちはメモを取ったり、実際に絵本を読み聞かせの型に合わせて開いたりしながら熱心に聞いていました。読み聞かせの実演は多岐にわたる内容で、参加した方たちもおはなしの世界に引き込まれていました。最後は講師の方に複数の質問が寄せられ、活気に満ちた様子でした。



講習会終了後には「おもしろかった」「次回があればまた参加したい」「勉強になった」などの好意的な意見が数多く寄せられ、参加した方たちもご満足いただけた講習会になったと思います。

〈岩木図書館〉4月12日～5月11日

HAPPY EGG

本との新たな出会いを

「こどもの読書週間」に合わせて「HAPPY EGG」というイベントを開催しました。これは、ガチャポンを回して出てきた卵型のカプセルに入っているテーマの本を、特設の本棚から2冊選んでもらうというものです。テーマは「かぞく」「たべもの」「ふしぎ」など、子どもたちにとって身近なものを用意しました。



HAPPY EGG。何が出るかな？

イベントには多くの子どもたちが参加してくれました。ドキドキしながらガチャポンを回す子、おそらく覚えてたの平仮名なのでしょう、出てきたテーマの文字を一つ一つ自分で読み上げる子、真剣に本を選ぶ子など、それぞれ楽しんでる様子でした。また、普段読まないテーマが出た子も「えー！虫？」などと言いなから、自分なりに面白そうなお本を探しているのが印象的でした。このイベントを通して、新たな本の世界が広がる一つのきっかけになれば幸いです。

かけになれば幸いです。

〈こども絵本の森〉2月23日

雑誌の無料配布

今年も大盛況！21種類の雑誌を無料配布！



雑誌を選ぶ参加者

大人気のイベント「雑誌の無料配布」を今年も開催し、当日は108名の参加がありました。開館前の8時55分頃から参加者が並び始め、10時の整理券配布時には30名以上の方が待機列にお並びくださいました。参加者からは「今日は雪がすごかったです！」などの声をいただき、中にはお目当ての雑誌のために何度も並び直し、雑誌でいっぱいのお袋を持ち上げて笑顔で帰宅される方もいました。1日で雑誌292冊と付録26点、全ての配布が終了しました。沢山のご参加ありがとうございました。

今回は「ここに大人向けの本があることを知らなかった」という方も参加されていたので、このイベントがこども絵本の森を知るきっかけの一つになれば嬉しいです。



盛況な会場

〈こども絵本の森〉4月1日～5月12日

こどもの読書週間

カラフルな春の図書館へようこそ！

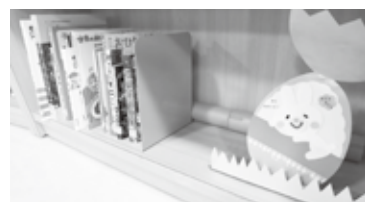
こども絵本の森では「Hello Spring！」

をテーマに、皆さんのおすすめ本の紹介・展示・貸出を行いました。チョウやハチ、ひよこなど、春の生き物の形のカードに好きな本について記入してもらい、お花が咲く大きなパネルに貼り付けてもらいました。どの本にしようかと悩み、選びきれず3冊分のタイトルを書く子や、何度もペンの色を持ちかえてきれいに書く子など、一生懸命な姿が印象的でした。期間中はカードがどんどん増えていき、皆さんのおかげで春らしいにぎやかなパネルに大変身！紹介してくれた本の展示・貸出コーナーは今回も大人気でした。



春の生き物でにぎやかになったパネル

また、館内のどこかにあるイースターエッグを探し、中に隠れている動物を見つけてもらう企画も開催。小さなお子さんも、色とりどりのイースターエッグをチラッとめくって楽しんでいました。



イースターエッグに隠れた動物たち



図書館を使った 調べる学習コンクール

■調べる学習コンクールとは？

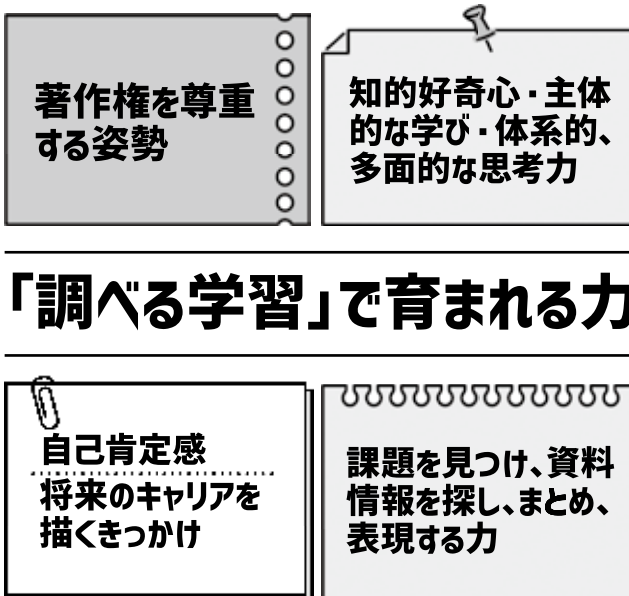
「図書館を使った調べる学習コンクール（調べコン）」とは、身近で起こった不思議なこと、興味があること、常々疑問に思っていることなどを、図書館を使って調べてまとめるコンクールです。調べるテーマは何でもあり。図書館で調べた情報だけではなく、実地調査や、見たり聞いたりした体験を交えても構いません。その結果何が分かったかをまとめて作品として応募します。普段皆さんは、何か気になったことがあっても深く調べたり、ましてや誰かに発表したりする機会は中々ないのではないのでしょうか。

小学生向けのコンクールと思われがちですが、実は子どもから大人まで対象です。また、ページ数についても、必ずしもたくさんページ数が必要というわけではありません。小学生以上であれば年齢制限はありません。誰でも、気になったことを調べて応募することができるのです。

■調べる学習で育まれる力

「時間かかるし…」や「調べてメリットあるの？」等々、きつと思っているでしょう。調べる学習を行うことで、育まれるスキルが大きく分けて

4つあります。情報が真実も嘘もあふれる現代、これからの学校生活、社会生活で大いに助けになる力です。



■「調べて・まとめる」4つのステップ

「そもそも調べ方が分からないし…」という方もいるかもしれません。ご安心ください。「調べる学習コンクール」では、4つのステップにして方法を説明しています。

①テーマを決める

まずはこれを決めないと始まりません。身の回りで、常々気になっていたことはありませんか？生き物や草木、食べ物、天気、物語、社会等々

：少しでも気になったことがあれば、それが入り口です。「どうして～なんだろう？」と疑問形にしてみましょう。「もしかして～なんじゃないか？」と仮説が立てられれば、何を調べればよいか糸口を探すことができます。そこまでいかないのは、実は気になることについて、あまりよく知らないからかもしれません。そんな時は図書館やインターネットでちよつと調べてみましょう。本当に興味を感じる部分が見つかるかもしれません。

②図書館で調べる

何かを調べるなら図書館が最適です。たくさん本があるし、読みたい本が見つからなくても、図書館の司書に相談すれば、本の場所や見つけ方などを教えてくれます。図書館司書は調べ学習の大きな味方です。また、同じ事柄でも、複数の本にあたってみましょう。書いてあることが違うかもしれません。「そんなことある？」と思うかもしれませんが、あるのです。単純に誤植もありえますが、例えば歴史だと、新発見があつて建国等の年が変わることがあります。その新発見の前後に発行された本は、年が違つて書かれていることになります。間違つた、または古い情報を載せないよう、資料は複数あたりました。

弘前図書館では7月に「調べる学習特別講座」を開催しています。図書館での調べ方を教えて



いますので、興味がある方はぜひ参加してみてください。

③もつと調べる

図書館だけでは調べきれないこともあります。そんな時は、実験や観察をしたり、博物館や美術館、科学館等に行ってみたり、アンケートを取ったり、思い切って専門家に手紙を出したりしてみましよう。本で調べるだけが正解ではありません。調べる学習のアプローチの幅はとて広いのです。弘前市立図書館で過去に開催されたコンクールでは、カレーを調べるために実際にいろいろな種類のカレーを作ったという参加者もいました。

④書いてまとめよう

調べた情報が集まったら、それをまとめてみましょう。まとめる時は、友達や家族に発表するつもりでまとめます。「なぜそのことを調べようと思ったのか」「どのように調べたのか」「調べて分かったことについてどう考えたのか」をまとめましよう。そして調べる学習では目次も作ります。どんな順番で説明したら分かりやすいかを考えます。また、調べる学習で忘れてはならないのは、参考文献です。調べる学習において、「調べた情報から分かったこと」と「自分の考え」は分けて書かなければいけません。調べる時に読んだ本を必ずまとめておきましょう。全てまとめたら、自分のテーマが分かるようなタイトルを付けます。タイトルはとても大事。皆さんも、本のタイトルに惹かれたり、逆に読む気がしないと感ずることがあると思います。「読んでみたい!」と思わせるような、気合の入ったタイトルを考えましよう。

弘前市立図書館を使った 調べる学習コンクールに応募してみよう!

弘前市立図書館では、今年も調べる学習コンクールの地域コンクールを開催します。今回は、青森りんご植栽150周年を記念して、りんごに関する調べ学習作品を募集する、「りんご部門」

を設けました。気になる方も、今は気になっていない方も、ぜひ弘前図書館で募集要項を手にとってみてください。

また、弘前図書館閲覧室入り口付近で、調べる学習コンクールの常設展示を行っています。調べる学習や調べ方の本、過去の入賞作品の展示をしていますので、ぜひご覧ください。



〈募集概要〉

●募集部門：「小学生の部」「中学生の部」「高校生の部」「大人の部」「子どもと大人の部」「りんご部門」

●募集期間：7月1日(火)～10月5日(日)

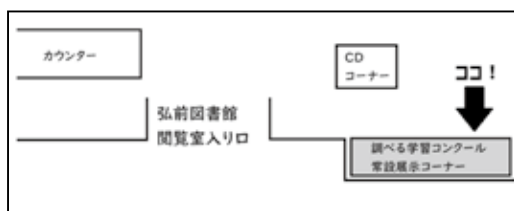
●応募先：弘前市立弘前図書館

【参考】

「図書館を使った調べる学習コンクール」

<https://concours.toshokan.or.jp/>

(最終確認日5月20日)



図書館スタッフが
おすすめする

BOOK REVIEW この本が面白い!

『魔性の子』

小野不由美/著
新潮社
2012年刊

2025年には舞台化も決まった長年親しまれている傑作ファンタジー「十二国記シリーズ」の序章です。教育実習のため母校に来た広瀬はかつて、神隠しにあった高里という生徒と出会います。周囲に馴染まない高里を気に掛ける広瀬は、「高里は祟る」という妙な言葉を耳にします。その言葉通り祟りは現れ、周囲も次々と巻き込まれていきます。祟りとは何なのか。高里とは何者なのか。ぜひ壮大な物語に浸ってみてはいかがでしょうか。

『いまぼくはここにいる
～きょうりゅうのサン～』かさいまり/文 星野イクミ/絵
アリス館
2019年刊

北海道むかわ町穂別で発掘された「むかわ竜」をモデルにした絵本。2024年9月、弘前図書館で行われた作家講演会において、かさいまり先生が紹介された1冊です。主人公である「むかわ竜のサン」の生涯をたどる物語で、心が温かくなるだけでなく、「かなしい」「さみしい」も混ざり合い、たった35ページですがとても読み応えのある1冊です。巻末には恐竜博物館についての説明イラストもあり、恐竜好きのお子さんにもおすすめです。

『もがいて、もがいて、古生物学者!!』

木村由莉/著
ブックマン社
2020年刊

「恐竜、古生物が好き!」という気持ちはあっても、誰でも古生物学者になれるわけではないのが、現実の辛いところ。でもそんな茨の道を、もがいて突き進んで古生物学者になった方がいます。この本の著者・木村由莉博士です。この本は、そんな博士の、古生物に捧げた青春から長い年月をかけて古生物学者の仕事にありつけた半生が綴られています。今年、弘前図書館にやってくる木村博士の本を、一足先に読んでみませんか?

『図書館の天才少女～本好きの新人官吏は膨大な知識で国を救います!～』

蒼井美紗/著 緋原ヨウ/画
KADOKAWA
2024年刊

物語の舞台は貴族と平民、魔法を使える者と使えない者が存在する王国。主人公のマルティナは読書が大好きで、一度読んだ本の情報は絶対に忘れない、人並み外れた記憶力を持つ少女。平民で魔法も使えない新人官吏の彼女は、はじめは偏見や差別を受けますが、蓄積された知識とその処理能力が高く認められ、仲間と共に魔物の大量発生という世界危機に立ち向かうことに。小学校高学年から中学生に特におすすめのファンタジー小説です。

『君の話』

三秋縋/著
早川書房
2018年刊

架空の記憶「義憶」。疑似的な記憶を後天的に植え付ける未来技術は「欠落した人間」にとって、とても魅力的に映った。19年もの歳月を過ごしておきながら、思い出など何一つない主人公の天谷千尋もその欠落した人間の一人であったが、彼は義憶に対し軽蔑と忌避感を抱いていた。絶望の中、己に失望した彼を救ったのは、この世に存在しない幼馴染だった…。偽りの追憶をめぐる、優しい嘘と美しい喪失の物語。

『あの図書館の彼女たち』

ジャネット・スケスリン
・チャールズ/著
東京創元社
2022年刊

舞台は第二次世界大戦下のパリ。アメリカ図書館の司書達は危険に晒された図書館利用者や戦地の兵士へ本を送るというプロジェクトを始めました。本を愛する、20歳の司書オデールもプロジェクトに奔走した一人。そんな彼女が、なぜ愛する図書館を離れたのが過去と現在、二人の女性の視点で描かれます。実際にアメリカ図書館で勤務経験のある作者によって綴られる、図書館への愛と利用者へのリスペクトが詰まった小説です。



令和7年6月～令和8年3月 移動図書館車「はとぶえ号」巡回予定表

曜日	火		水				金			土			
巡回ステーション	高杉小学校	三省地区交流センター	学（附属小正門前町）	和徳小学校	大成小学校	第三大成小学校	東目屋小学校	安（マックスバリュ安原店駐車場）	文京小学校	城東（青森みちのく銀行弘前東支店駐車場）	青（ユニバース堅田店駐車場）	致遠児童センター	石（サンデー弘前石渡店駐車場）
時間	12：40 ～ 13：15	13：45 ～ 14：15	10：00 ～ 10：40	12：50 ～ 13：15	14：10 ～ 14：50	15：10 ～ 15：30	10：05 ～ 10：35	13：40 ～ 14：20	14：45 ～ 15：15	10：00 ～ 10：40	13：30 ～ 13：50	14：20 ～ 14：40	15：10 ～ 15：30
巡回日	6月3日 ×	11月4日 11月18日	6月4日 ×	11月5日 11月19日			6月6日 6月20日	11月7日 11月21日		6月7日 6月21日		11月8日 11月22日	
	7月1日	12月2日	7月2日	12月3日			7月4日	12月5日		7月5日		12月6日	
	7月15日	12月16日	7月16日	12月17日			7月18日	12月19日		7月19日		12月20日	
	7月29日	▲	7月30日	▲			8月1日	▲		8月2日		▲	
	8月12日	1月13日	8月13日	1月14日			8月15日	1月16日		8月16日		1月17日	
	8月26日	1月27日	8月27日	1月28日			8月29日	1月30日		8月30日		1月31日	
	9月9日	2月10日	9月10日	2月11日			9月12日	2月13日		9月13日		2月14日	
	9月23日	2月24日	9月24日	2月25日			9月26日	2月27日		9月27日		2月28日	
	10月7日	3月10日	10月8日	3月11日			10月10日	3月13日		10月11日		3月14日	
	10月21日	3月24日	10月22日	3月25日			10月24日	3月27日		10月25日		3月28日	
曜日	火		水				金			土			
巡回ステーション	裾野小学校	新和小学校	松（コープ松原店駐車場）	城東小学校	相馬小学校		船沢小学校	清水交流センター		弘前市総合学習センター	図書巡回ポストあります （県営住宅4号棟前駐車場） 県営宮園団地駐車場	岩木児童センター	樋口（イオンタウン弘前樋口の口駐車場）
時間	10：00 ～ 10：40	13：10 ～ 13：40	10：00 ～ 10：50	12：50 ～ 13：20	15：10 ～ 15：30		12：50 ～ 13：30	14：30 ～ 15：20		10：00 ～ 10：40	13：30 ～ 13：50	14：20 ～ 14：40	15：10 ～ 15：30
巡回日	×	11月11日	×	10月29日			×	10月31日		×		11月15日	
	6月24日	11月25日	6月25日	11月12日			6月27日	11月14日		6月28日		11月29日	
	7月8日	12月9日	7月9日	11月26日			7月11日	11月28日		7月12日		12月13日	
	7月22日	12月23日	7月23日	12月10日			7月25日	12月12日		7月26日		12月27日	
	8月5日	1月6日	8月6日	12月24日			8月8日	12月26日		8月9日		1月10日	
	8月19日	1月20日	8月20日	1月7日			8月22日	1月9日		8月23日		1月24日	
	9月2日	2月3日	9月3日	1月21日			9月5日	1月23日		9月6日		2月7日	
	9月16日	2月17日	9月17日	2月4日			9月19日	2月6日		9月20日		2月21日	
	9月30日	3月3日	9月31日	2月18日			10月3日	3月6日		10月4日		3月7日	
	10月14日	3月17日	10月15日	3月18日			10月17日	3月20日		10月18日		3月21日	

※ 表中の×は蔵書点検のため運行休止、▲は年末年始のため運行休止となります。

※ 天候、その他の諸事情で巡回が困難な時はやむを得ず中止することがあります。



お知らせ・図書館イベント等の情報 7～8月

※都合により、変更になる場合がございます。

開催館・日時	イベント名	内容等
4館合同（弘前・岩木・こども・相馬） 8月1日（金）～8月31日（日）	4館スタンプラリー	【対象】 どなたでも・申込不要
弘前図書館 7月5日（土）10時～12時	調べる学習特別講座 in 弘前図書館	【対象】 小学生以上の方 【定員】 10名（先着順） 【申込】 6月1日（日）～6月28日（土）まで弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 7月12日（土）13時～16時	弘前ライブラリーシネマ	【上映作品】 劇場アニメ『かがみの孤城』 【対象】 小学生以上 【定員】 30名（先着順） 【申込】 6月23日（月）9時30分から弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 7月19日（土） 午前の部：10時～11時30分 午後の部：13時～14時30分	弘前図書館ライブラリースクール 国立科学博物館の木村由莉博士が 弘前図書館にやってくる！ 「恐竜と古生物のふしぎ探検」 午前の部「恐竜がもっと好きになる、古生物がもっと知りたくなる化石の話」 午後の部「もがいてもがいて、古生物学博士になりました」	【対象】 小・中学生（保護者同伴可） 【定員】 午前・午後各50名（先着順） 【申込】 6月27日（金）9時30分から弘前図書館カウンターまたは電話で受付 ※午前、午後どちらか一方のみの参加も可能
弘前図書館 7月26日（土）14時～14時40分	夏休みおはなし会	【対象】 幼児、小学生 【定員】 30名（先着順） 【語り手】 しらゆり会の皆さん 【内容】 怖いおはなし 【申込】 6月20日（金）9時30分から弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 ①7月30日（水）9時30分～14時30分 ②7月31日（木）9時30分～14時30分 ③8月1日（金）9時30分～14時30分	図書館のお仕事やってみ隊	【対象】 市内の小学校4年生～6年生 【定員】 ①②③各6名 ※①②③のうちいずれかを選択 ※申込方法など詳細は後日発表
弘前図書館 8月30日（土）13時30分～15時	弘前図書館市民講座 「プロテオグリカンは、 こうして青森で育った」	【対象】 どなたでも 【定員】 40名（先着順） 【講師】 米塚 正人氏（角弘プロテオグリカン研究所） 【申込】 7月18日（金）9時30分から弘前図書館カウンターまたは電話で受付
岩木図書館 7月19日（土）10時～10時30分	夏休み応援企画 自分だけの万華鏡を作ろう！	【対象】 小学生 【定員】 10名（先着順） 【申込】 7月5日（土）9時30分から岩木図書館カウンターまたは電話で受付
こども絵本の森 7月18日（金）～8月20日（水）	夏休みおはなしクイズラリー	【対象】 小学生まで 【申込】 不要
相馬ライブラリー 7月17日（木）～8月31日（日）	夏休み特別企画 本のおたのしみくじ2025in そうま	【対象】 相馬ライブラリーで本を借りた方 【申込】 不要
相馬ライブラリー 8月9日（土）10時30分～11時30分	夏休み特別企画おはなし会 さいたさいたおはなしの花 in 相馬	【対象】 幼児～小学生 【申込】 不要

弘前図書館 蔵書点検に伴う臨時休館のお知らせ

休館期間：6月9日（月）～19日（木）

蔵書点検のため休館いたします。移動図書館車も運行休止となります。なお、休館期間中の返却は、弘前図書館東北電力側玄関、総合学習センター、まちなか情報センター、JR 弘前駅（駅ピアノ付近）にある返却ポストまたは岩木図書館、こども絵本の森、相馬ライブラリーをご利用ください。

岩木図書館、こども絵本の森、相馬ライブラリーは通常通り開館しております。

弘前図書館 開館時間 平日 9:30～19:00 土日祝 9:30～17:00 休館日…毎月第3木曜日 ※その日が祝日の場合はその翌日 年末年始 蔵書点検期間 電話 32-3794	岩木図書館 開館時間 平日 9:30～19:00 土日祝 9:30～17:00 休館日…毎週月曜日 年末年始 蔵書点検期間 電話 82-1651	こども絵本の森 開館時間 10:00～18:00 休館日…毎月第3木曜日 ※その日が祝日の場合はその翌日 蔵書点検期間 電話 35-0155	相馬ライブラリー 開館時間 9:30～17:00 休館日…毎週水曜日 年末年始 蔵書点検期間 電話 84-2316
---	--	---	--

発行：指定管理者 TRC・アップルウェーブ・弘前ペンクラブ共同事業体

